

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	社会福祉団体活動助成事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体に対し、行政では対応し難い福祉需要への多様な取組みに対し、社会福祉法に基づく財政支援を行い、地域福祉の推進を図る。		
30年度概要	社会福祉の向上を図るため、高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体（3団体）の事業に対し、補助金を交付するとともに、たすけ合い金庫資金を貸し付ける。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民の日常生活上の諸問題の解消、軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付団体数	団体		5	5	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	相談件数	件	目標値		395	220	220	220
			実績値		395	218		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 相談件数の多少で評価できるものではないが、目標値に概ね到達しており、財政支援を行うことにより相談事業を始めとする多様な取組みに努めてもらっている。 (目標達成度)	500 400 300 200 100 0						(達成度) 100.9% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)	1 0						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	128,279	126,525	119,779	144,015
（事業費）	[円]	124,057	121,814	114,468	138,704
（職員人件費）	[円]	4,222	4,711	5,311	5,311

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

各団体に財政的支援を行うことにより、地域福祉の推進を図ることができた。今後、補助金額の減額について検討していく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

厳しい財政事情を踏まえ、補助金の削減について各団体と検討していく。高松市社会福祉協議会については、平成30年度から2年間を目途とし、経営赤字に対する人件費の強化分を増額しているが、経営赤字に転じた場合は平成29年度と同額程度の補助とする予定である。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	戦争犠牲者追悼式等事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	日華事変（日中戦争）以降における戦没者、高松市戦災（高松空襲）犠牲者及び外地犠牲者等の御霊10,664柱を祭祀するため追悼式典を開催する。また、慰霊事業の推進のため、37地区遺族会及び2遺族団体に事業補助金を交付する。				
	30年度概要	1 平成30年度高松市戦争犠牲者追悼式 ・日時、場所 平成30年10月2日（予定） サンポートホール高松3階大ホール ・事由 日華事変（日中戦争）以降における戦没者、高松市戦災（高松空襲）犠牲者及び外地犠牲者等の御霊10,664柱を祭祀 ・周知方法 案内状発送 広報掲載 関係3団体に周知			
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	戦争犠牲者
意図（どのような状態にしたいか）	戦争犠牲者の冥福を祈り、戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識する場を提供することにより、二度と戦争を繰り返さない社会の実現を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
追悼式案内状配布件数	通		3,772	3,767	3,700	3,261

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		追悼式参列者率	%	目標値		7.8	8.1	8.1
			実績値		7.8	8		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 遺族以外の関係団体等にも案内することで、例年並の参列者があり、目標どおりに達成することができた。 （目標達成度）							（達成度） 98.8% 34点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	8,320	8,358	8,222	8,382
（事業費）	[円]	3,714	3,647	3,670	3,830
（職員人件費）	[円]	4,606	4,711	4,552	4,552

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
昨年度はほぼ例年通りの参列者数だったが、今後も遺族の高齢化により徐々に参列者数が減少することが見込まれる。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
今後も参列者数が減少することが見込まれていることから、参列者数が大幅に減少するようであれば、小規模な会場への変更や、事業のあり方自体を検討する必要がある。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	災害援護事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業		
30年度概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	要介護認定3～5の人など災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の方などの避難行動要支援者。
意図(どのような状態にしたいか)	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の人など(避難行動要支援者)に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く、安全に行われる体制づくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
避難行動要支援者新規登録希望調査票発送数	件			4,647	5,000	5,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	避難行動要支援者新規登録率	%	目標値			20	20	20
			実績値			16.3		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 81.5% 28点
	平成29年度における避難行動要支援者登録対象者4,647人に対して申請書を送付したところ、756人の登録希望があり、16.3%の登録率にとどまり、目標値としていた20%を下回った。	(目標達成度)						
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	74,153	37,497	15,638	17,418
(事業費)	[円]	54,577	21,795	2,740	4,520
(職員人件費)	[円]	19,576	15,702	12,898	12,898

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

避難行動要支援者名簿を平時から整備し、地域支援組織と情報共有しているが、平成29年度は地域コミュニティ協議会と連携して、登録情報の更新等に取り組んだ。今後も、地域コミュニティ協議会と連携し、地域の共助、防災意識を高め、名簿登録率の向上等にもつなげたい。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

避難行動要支援者名簿の情報更新に係る制度改善を、地域コミュニティ協議会と連携して継続的に実施していく。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	若者育成支援推進事業		事業期間	平成29年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会生活を営む上での困難を有する若者を支援するため、高松市若者支援協議会を設置し、協議会を構成する関係機関の情報交換を行うとともに、相互に協力・連携することで、若者それぞれの置かれた状況等にきめ細やかに対応できる支援体制を構築する。				
	30年度概要	協議会の開催 代表者会議 3回/年 実務者会議 3回/年	新規事業		
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型		


【事業の目的】

対象(何を)	ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する若者(15歳～39歳)
意図(どのような状態にしたいか)	ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する若者が、健やかに成長し、持てる能力を生かし自立・活躍することができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
協議会等の開催回数	回			3	6	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
		協議会の構成団体数	団体	目標値			26	27
			実績値			26		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	代表者会及び実務者会において、6つの分野の機関に関係機関として協議会に参加いただき、情報共有及び相互連携を図った。 						(達成度)
								100.0%
								35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]			5,477	6,450
(事業費)	[千円]			166	1,139
(職員人件費)	[千円]			5,311	5,311

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

平成29年度は、高松市若者支援協議会を設置し、関係機関相互のネットワーク形成を図り、平成30年度実施事業を決定したが、今後も、困難を有する若者とその家族がどのような支援を求めているかを把握していく必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

今後は、困難を有する若者とその家族のニーズを把握しながら、より効果的な支援施策を検討していく。